

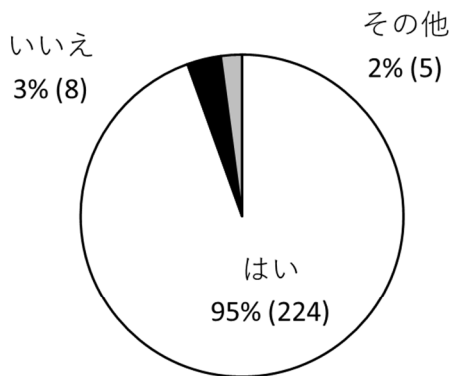
## 英文誌ペーパーレス化に関するアンケート集計結果

英文誌ペーパーレス化に関するアンケートにご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。以下に集計結果およびいただいたご意見・ご質問への回答をまとめさせていただきます。内容の重複するご質問等につきましては、こちらで要約または省略している場合があります。

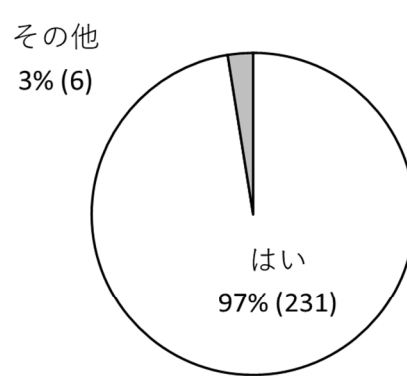
総回答者数：237名（オンライン234名 + FAX1名 + 郵送2名）

アンケート回答結果の要約図：以降に詳しい結果を載せております。

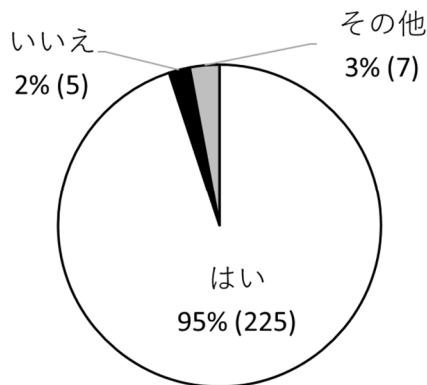
### Q1. ペーパーレスへの賛否



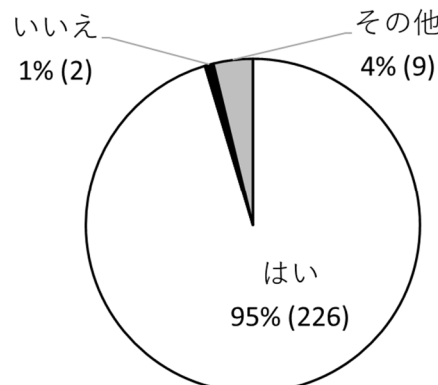
### Q2. ID・パスワードの通知



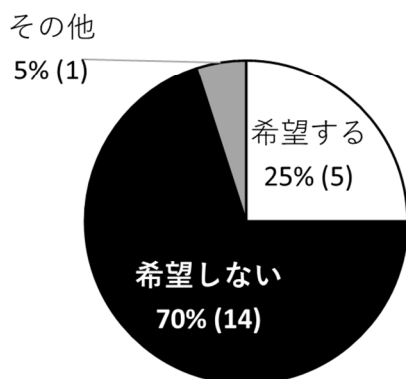
### Q3. 別刷り無料配布の廃止



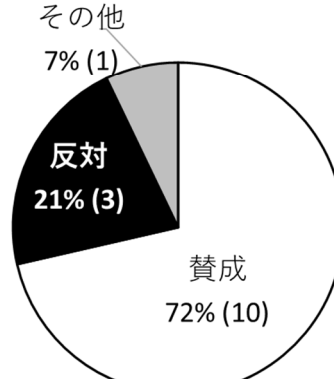
### Q4. 新規論文のメール通知



### Q5. 簡易冊子の作成・配布



### Q6. 団体会員のアクセス権



**Q1. 英文誌のペーパーレス化（紙冊子の廃止）の方向性にご賛同いただけますでしょうか。ここでは全体的な方向性への賛否をご回答ください。**

「はい」が95% (n = 224)、「いいえ」が3% (8)、「その他」が2% (5)となりました。「その他」の内容とそれに対する回答は以下の通りです。

- ・可能なら Online First もあってよい。(回答) J-STAGE には早期公開の機能がありますが、早期公開のための英文誌委員会の作業負担がさらに増えることになるため慎重に検討中です。
- ・OA 化であるならば賛同。(回答) 現在の学会員の特典として、論文 PDF を J-STAGE 上で出版と同時に閲覧・ダウンロードできることが挙げられます（非会員であっても 1 年後に閲覧・ダウンロード可能になります）。オープンアクセスの議論は重要ですが、こうした会員特典を失うことを意味しますので、今回のペーパーレス化とは別に検討する必要があると考えています。
- ・団体会員や冊子体希望者用には印刷物も残すべき。大学図書館、研究室に冊子体として置かれ、学生の目に触れる機会を増やすことが必要。(回答) ご指摘は理解いたします。一方で印刷物を継続することによる追加コストの増加を考慮しなければならないため、慎重に検討させていただければ幸いです。
- ・和文誌も同様の対応を希望。学会誌の処理に困っている。(回答) 和文誌についても将来的なペーパーレス化の可能性はありますが、和文誌は大会案内等を含めて論文以外の多様な情報を掲載しておりますため、現時点でのペーパーレス化は難しい状況です。冊子の郵送を希望されない方は、個別に春恒社宛にご連絡いただければ郵送を停止することが可能です。学会ホームページの連絡先をご覧ください。

**Q2. ペーパーレス化が実現する場合、皆様が英文誌を J-STAGE 上で閲覧しやすいよう、学会員宛の一斉メールを利用して、皆様の ID・パスワードを個別にご連絡したいと思いますよろしいでしょうか。なおメールアドレスを未登録の方は、ID・パスワードを郵送で通知いたします。**

「はい」が97% (n = 231)、「いいえ」が0% (0)、「その他」が3% (6)となりました。「その他」の内容とそれに対する回答は以下の通りです。

- ・すでに利用している鳥学会の Jstage アカウントとは別のアカウントを使うということか？(回答) いいえ、これまで通りのアカウントです。ID・パスワードを紛失されている方のために再通知いたします。
- ・有償コンテンツになるのか？パスワード ID 不要で公開でよいのでは。(回答) Q1 でご回答した通り、現在も学会員は論文 PDF を J-STAGE 上で出版と同時に閲覧・ダウンロードできます（非会員であっても 1 年後に閲覧・ダウンロード可能）。その点はペーパーレス化した場合も変更ありません、あくまで冊子がお手元に届かなくなるということです。オープンアクセスの議論は重要ですが、J-STAGE の会員特典を失うことを意味しますので、今回のペーパーレス化とは別に検討する必要があると考えています。
- ・発信力低下を補うため、ペーパーレス化はフリーアクセス化と一体的に行うことが望ましい。ID、パスワードによるアクセス制限には反対。(回答) 上記の回答をご覧ください。
- ・ダウンロードできる PDF 版をお願いしたい。(回答) 現時点で、J-STAGE では PDF がダウンロード可能ですので、ぜひご利用ください。ID・パスワードを紛失された場合は春恒社までご連絡ください。
- ・大学図書館としての契約の為 OA 化もしくは ID/PW の共有が可能ならばよい。(回答) 上記の通り、現段階ではオープンアクセスは予定しておりません。団体会員に対する J-STAGE の ID・パスワード付与につきましては、濫用や漏洩を防ぐために原則として担当者の方 1 名のみとしたいと考えておりますが、希望者への冊子の配布の有無と合わせて、慎重に検討させていただきます。

Q3. ペーパーレス化が実現する場合、これまで行ってきた別刷りの無料配布（最大 30 部）の継続が困難になります。そこで、有償になりますが、著者らが直接印刷会社（レタープレス）に依頼できるようご案内する形に変更させていただいてもよろしいでしょうか。

「はい」が 95% (n = 224)、「いいえ」が 2% (5)、「その他」が 3% (7)となりました。「その他」の内容とそれに対する回答は以下の通りです。

- ・ PDF が無償配布されるなら、別刷りの無償配布はなくてもよいと思う。(回答) PDF は無償配布されます。
- ・印刷されたものが必要な方は、個別に自宅ですればよい。知人や関係者に配布する分については、別刷りの PDF ファイルをシェアすればよい。この機会に事務局の省力化を最大限進めるのが良い。(回答) 基本的にはその通りだと思います。事務局の負担軽減へのご理解もありがとうございます。
- ・著者には PDF を配布し、自由に配布できる権利を付与していただきたい。(回答) 現在も学会員は論文 PDF を J-STAGE 上で出版と同時に閲覧・ダウンロードできます（非会員であっても 1 年後に閲覧・ダウンロード可能）。著者個人のホームページ等で不特定多数に対する公開は禁止させていただきますが、少数の知人や関係者に PDF データを配布することは禁止されておりません。
- ・最大 30 部の印刷費用の目安は？(回答) ページ数に応じて 7,500~12,600 円（税別）+送料実費です。

Q4. 英文誌の冊子がお手元に届かなくなることで、新規論文の発信力の低下が懸念されます。その影響を緩和するため、学会員宛の一斉メールを利用して新規論文の出版を皆様に通知し、学会 HP にもその旨をお知らせしてよろしいでしょうか。

「はい」が 95% (n = 226)、「いいえ」が 1% (2)、「その他」が 4% (9)となりました。「その他」の内容とそれに対する回答は以下の通りです。

- ・アブストラクトの和訳を送ってもらえるとありがたい。(回答) タイトル・要旨の和訳は既に和文誌に掲載されておりますので、ぜひそちらをご覧ください。また今後は一斉メールでの配信時に和訳を載せるなども検討しておりますが、担当者の負担増を考慮して検討を進めたいと思います。
- ・例えば気象学会が気象集誌の発行時に行っているように、論文の題名とリンク先を目次として並べて、メールで知らせて頂けると便利。(回答) メール配信の際に可能かどうか、担当者で相談の上で検討いたします。
- ・J-stage で日本語訳のタイトルや要約を閲覧できるようにすると良い。和文誌に掲載するだけでなく、Jstage でもすぐにみられると英語の苦手な人への発信力は上がるし、利便性も高くなる。(回答) ご指摘の通りと思います。ただし担当者の負担も大きくなりますので、その点を考慮して検討を進めたいと思います。
- ・海外雑誌のようにツイッター発信をしたり、国内向けには、鳥学通信にリンク付きで紹介してはどうか。Jconet 等での告知もあってよい。(回答) これらもその通りと思います。上記の考え方の元で進めさせていただきます。
- ・新規論文はまとめてではなく、受理の都度出していただくとありがたい。(回答) 作業者の負担が大きく増える可能性が高いため、慎重に検討したいと思います。

Q5. [インターネット環境が整っていない会員のみご回答ください。] Q4の方法では、皆様に対して英文誌の情報が届きづらくなります。そこで、もし希望者が多い場合には、従来より簡易な冊子を作成・郵送することも検討中です。有償（1冊1500円・年3000円を想定）となりますが、簡易冊子の作成・配布を希望されますか？

「希望する」が25% (n=5)、「希望しない」が70% (14)、「その他」が5% (1)となりました。「その他」の内容とそれに対する回答は以下の通りです。

- ・インターネット環境が整っていない会員のみ回答の質問を、インターネットが必須のGoogleフォームで回答せよ、というこの設問は破綻しているのでは。インターネットがなければ、そもそも、この質問サイト(Googleフォーム)へアクセス自体ができないはず。(回答)メールアドレス未登録の会員には郵送にてアンケートを通知しており、回答もFAX等で行えるようにしております。ご理解いただけますと幸いです。

Q6. [団体会員の方のみご回答ください。]団体会員は、現在J-STAGEのアクセス権を付与されておられません。ペーパーレス化が実現した場合、英文誌を閲覧・ダウンロードできるよう、各団体会員の担当者一名にJ-STAGEのアクセス権を付与したいと考えております。この提案にご賛成いただけますでしょうか。もしご反対の場合は、ぜひ理由を教えてください。例えば印刷物の配布を希望される方が多い場合は、従来よりも簡易な冊子を作成・郵送することも検討中です。

「賛成」が72% (n=10)、「反対」が21% (3)、「その他」が7% (1)となりました。「反対」および「その他」の内容とそれに対する回答は以下の通りです。

- ・「反対」冊子の方が読みやすい。絶対冊子が良い。(回答)ご意見ありがとうございます。慎重に検討させていただきます。
- ・「反対」和文誌も同時にオンライン化しない何かしらのネガティブな理由が見えておらず、判断できないため。(回答)和文誌についても将来的なペーパーレス化の可能性はございますが、和文誌は大会案内等を含めて論文以外の多様な情報を掲載しておりますため、現時点でのペーパーレス化は難しい状況です。
- ・「その他」ID/PWをダウンロードしたものを学内で共有閲覧してもよいのであれば賛成。そうでないなら印刷物の送付を希望。(回答)団体会員に対するJ-STAGEのID・パスワードは濫用や漏洩を防ぐために原則として担当者の方1名のみとしたいと考えておりますが、ダウンロードした論文自体を学内の関係者のみで共有いただくことは原則として問題ございません。

以上の回答結果を踏まえて、今後は検討グループでさらに検討を進めさせていただきます。引き続きのご協力、何卒よろしくお願い申し上げます。今回のアンケート結果・回答に対するさらなるご意見等は、以下の連絡先にお問い合わせいたします。

英文誌ペーパーレス検討グループ 片山 直樹

[katayama6@affrc.go.jp](mailto:katayama6@affrc.go.jp)